

食用ヒエの乾草, サイレージの飼料価値

沢田耕尚・川関 巖・日高 操・犬童幸人
(九州農業試験場)

SAWADA, T., KAWASEKI, I., HIDAKA, M. and INUDO, Y.
On the Feeding Value of Japanese Millet Hay and Silage.

暖地の夏季飼料作物として利用価値の高いと思われる食用ヒエ *Panicum crus-galli* L. var. *frumentaceum* Hook. f. が、昭和47年宮崎県西諸県郡須木村で栽培が確認され、栽培面積の著しい増加が認められるシコクビエの再生の悪さ、乾燥の困難さをおぎなう可能性を有すると考えられたので、乾草およびサイレージについて飼料価値を検討した。

試験方法

1) 供試系統: 須木ビエ (須木村夏木産) シコクビエ (四国農試産祖谷系), 2) 耕種概要: 播種期須木ビエ49年6月5日, シコクビエ6月24日, 播種量0.4kg/a 畦幅40cmに条播, 施肥量(kg/a) N. 2.0, P₂O₅ 2.5, K₂O 2.0, 追肥1番刈後N. 1.0kgを施用した。刈取期: 2草種とも1, 2番刈とも穂ばらみ期刈りとし, 1番草は6月24日, 2番草は9月4日に刈取ったが, シコクビエの2番草は再生悪く利用できなかった。3) 調製: 各作物とも手刈り後天日乾燥した。サイレージは目標水分70%まで天日予乾しカッタ切断後, ドラム缶に詰込み供試した。4) 消化試験: 去勢めん羊3~4頭を1組とし, 第1回49年9月11日~23日, 第2回50年3月17日~3月29日の2回に分けて実施した。

試験結果

1) 生草収量: 須木ビエ1番草311kg, 2番草237kg, 計548kg/aであったが, 草丈80cmで3回刈が可能と思われるので, 増収は可能と思われる。

2) 一般飼料成分: 乾物基準によると, サイレージではシコクビエは可溶無窒素物が多く, 須木ビエ1番草は粗灰分が多く, 可溶性無窒素物は少ない。乾草では両草種間に差が少なかった。

3) 品質: 旧法により須木ビエー番草サイレージは15点, 2番草60点, シコクビエ81点で, 須木ビエ1番草が著しく劣ったのは詰込時の水分が予乾目標より大幅に高かったことが原因と思われる。乾草では須木ビエは茎も細く, シコクビエに比してやや硬い感があったが, 淡緑色で芳香がありすぐれていた。

4) 採食性: 両草種とも優であるが, 体重に対する乾物摂取割合はサイレージではシコクビエが優れていたが, 乾草では須木ビエが優れていた。

5) 消化率, 可消化養分量: 表に示すように各成分ともシコクビエが消化率は高く, DCP, TDNともにシコクビエが須木ビエよりも高い傾向を認めた。以上単年度の結果であったが, 須木ビエはサイレージよりも乾草に適している作物のように思われる。

表 須木ビエの乾草, サイレージの採食性と消化率, 可消化養分量

供試作物	乾物摂取量 (体重100kg 当たり換算)	採食性	消化率(%)					DCP	TDN		
			乾物	粗蛋白質	粗脂肪	可溶無窒素物	粗繊維				
サイレージ	須木ビエ1番草	*1,206	100	優	65	62	64	64	79	1.6	9.9
	須木ビエ2番草	*1,330	110	優	58	52	72	60	67	1.3	13.0
	シコクビエ1番草	1,406	117	優	77	77	76	79	86	2.4	16.0
乾草	須木ビエ1番草	1,429	119	優	60	70	43	54	73	11.6	46.2
	シコクビエ1番草	1,116	93	優	73	72	53	70	81	11.1	52.6

注) 3頭の平均値, *印は個体差大